



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

寺崎電気産業株式会社
（証券コード：6637）

会社概要

《2024年9月末現在》

社 名	寺崎電気産業株式会社 TERASAKI ELECTRIC CO.,LTD.
本 社 所 在 地	大阪市 平野区
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 寺崎 泰造
創 業	1923年(大正12年)
資 本 金	12億3,664万円
従 業 員 数	2,157名(連結) 562名(個別)
事 業 内 容	電気機器器具の製造販売
連 結 子 会 社	国内4社 海外8社
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
株 式 状 況	発行済み株式数 13,030,000株 株主数 1,247名(単元株所有者) 単元株数 100株
決 算 期	3月末日

事業概要

船舶用システム製品

ひとたび出港すれば、自らの装備のみが頼りとなる船舶。その安全航海を担うのが、私たちテラサキの船舶用配電制御技術です。

- 船舶用配電制御システム
- 監視制御システム
- 陸電供給システム
- 船員教育訓練システム



機器（ブレーカ）製品

わが国で最初にブレーカ(配線用遮断器)を独自開発。様々な国際規格の認定取得に取り組み、人命や建物、財産を、危険な電気事故から保護し続けます。

- 低圧遮断器
気中遮断器・配線用遮断器・漏電遮断器
- MCTマルチケーブルトランジット
(ケーブル貫通部総合防災品)



産業用システム製品

ビル用配電制御システムから始まった私たちの技術は、グリーンエネルギーや新エネルギーの分野に貢献します。

- 配電制御システム
- コージェネレーション向け制御システム



メディカルデバイス

創業以来取り組んできた電気電子・制御技術をベースに、開発・設計から製造まで一貫した体制で人々の健康を守ります。

- 医療機器
- 臨床検査機器



エンジニアリング及びライフサイクルサービス

お客様が導入された設備を安全に、永く、安心してお使いいただけるよう、磨き上げられたエンジニアリング技術やマネジメント力で支援します。

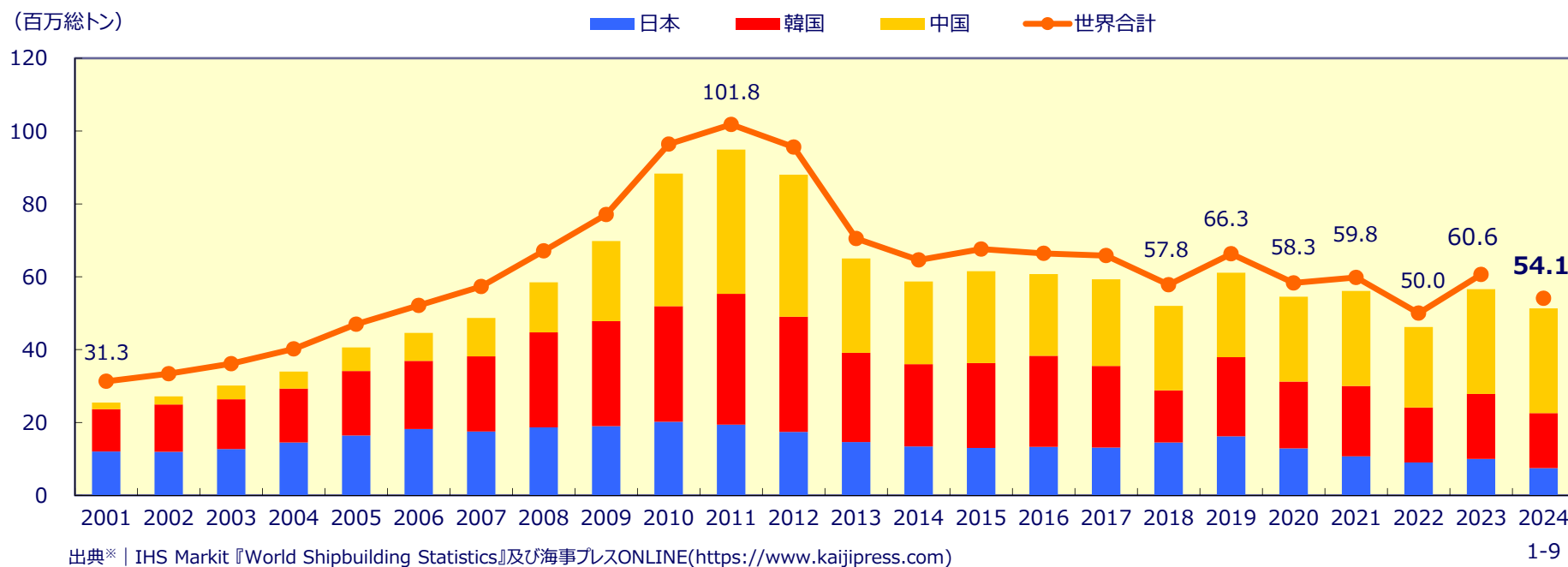
- 当社製品の保守・メンテナンスサービス
- 機械設備の設計・構築等のエンジニアリングサービス
- イトフィットとライフサイクルサービス
- 船員トレーニング・サービス



世界造船業界の動向（竣工量）

2024年 1 - 9 月での「世界の新造船竣工量」は
5,409万総トンとなり対前年同期比 19.9%増

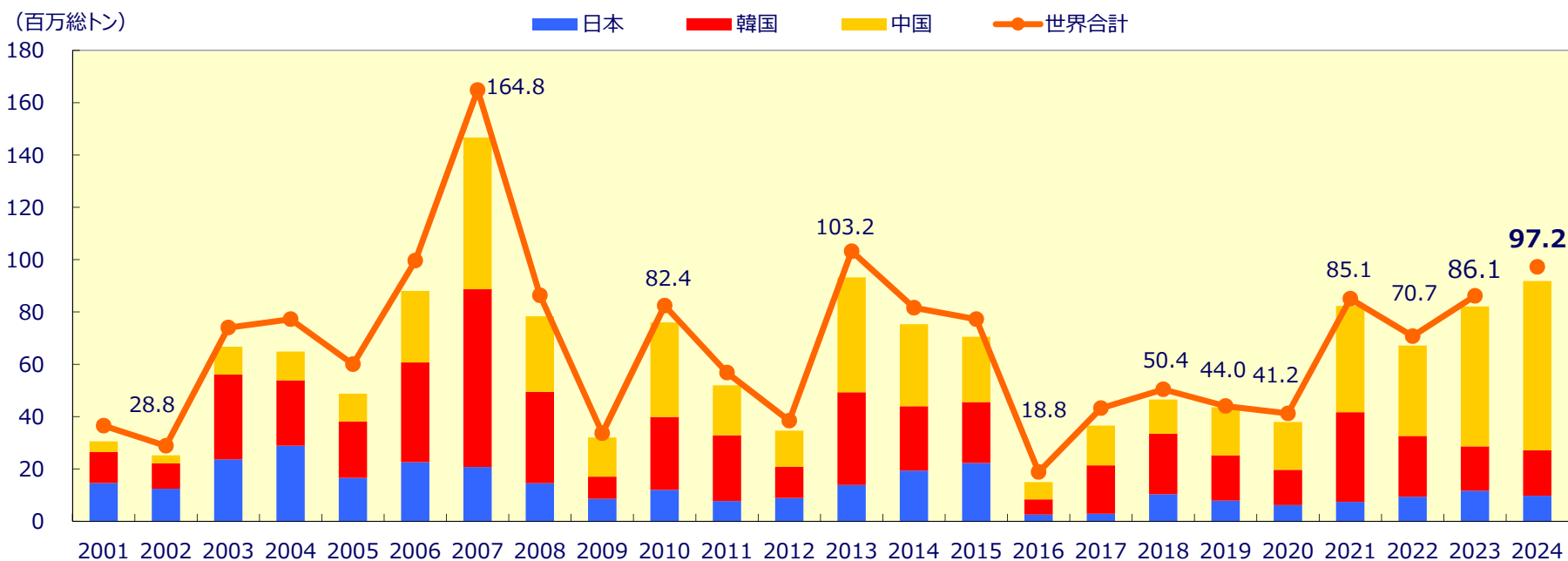
日本...	290隻	748万総トン	(対前年同期比	3.3%増)
韓国...	201隻	1,507万総トン	(対前年同期比	8.0%増)
中国...	799隻	2,874万総トン	(対前年同期比	35.8%増)



世界造船業界の動向（受注量）

2024年 1 - 9 月での「世界の新造船受注量」は
9,721万総トンとなり対前年同期比 43.8%増

日本・・・	331隻	971万総トン	（対前年同期比 12.8%増）
韓国・・・	231隻	1,744万総トン	（対前年同期比 14.4%増）
中国・・・	1,412隻	6,466万総トン	（対前年同期比 57.2%増）



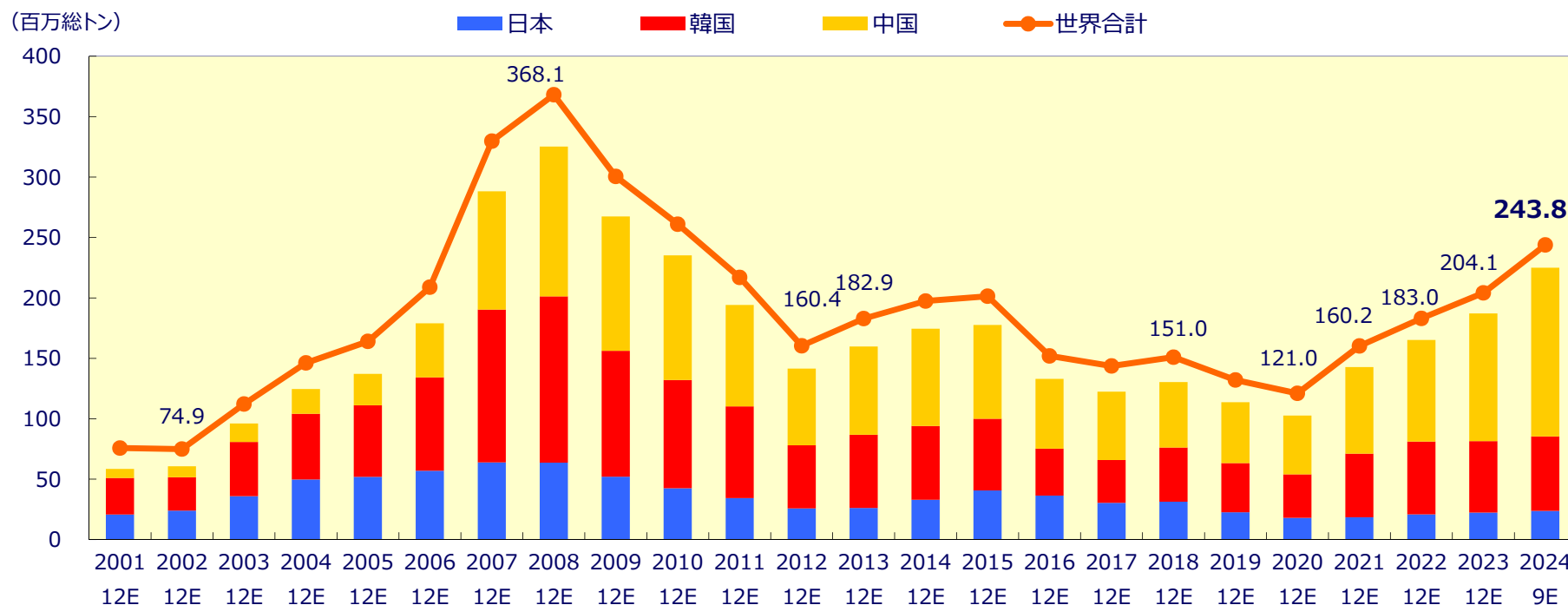
出典※ | IHS Markit『World Shipbuilding Statistics』及び海事プレスONLINE(<https://www.kaijipress.com>)

1-9

世界造船業界の動向（手持工事量）

2024年9月末における「世界の新造船手持工事量」は
2億4,380万総トンとなり対前年9月末比 20.7%増

日本・・・	629隻	2,371万総トン	（対前年9月末比 7.3%増）
韓国・・・	694隻	6,172万総トン	（対前年9月末比 0.7%増）
中国・・・	2,765隻	1億3,954万総トン	（対前年9月末比 37.9%増）



出典※ | IHS Markit『World Shipbuilding Statistics』及び海事プレスONLINE(<https://www.kaijipress.com>)

連結決算概要

- ✓ 売上面では、堅調に推移する造船市況を背景に船舶用システム製品が増加
- ✓ 利益面では、原材料価格の高騰や人件費上昇等による影響を受けるも、増収や為替の円安影響等により増加

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率	為替影響額
売上高	23,285	26,918	+3,633	+15.6%	+1,335
営業利益	1,340	2,245	+905	+67.5%	+435
経常利益	1,878	2,241	+363	+19.3%	
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,535	1,578	+42	+2.8%	
E P S 1株当たり中間純利益	117円88銭	121円13銭			
営業利益率	5.8%	8.3%			

《期中平均レート》

1US\$	141.06円	152.76円
1EURO	153.45円	166.05円
1ST £	177.61円	195.55円
1RMB	19.75円	21.16円

連結営業利益増減内訳

(単位：百万円)



セグメント別概要 日本

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	10,375 (52.7%)	11,890 (51.1%)	12,533 (46.5%)	+5.4%
セグメント利益	551	1,222	1,551	+26.9%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	陸電供給システムが減少したものの、コンテナ船及びLNG運搬船向け等が増加
産業用システム製品	減少	国内グリーンエネルギー関連の発電プラント向けが低調に推移
医療デバイス	減少	医療機器の新規設備投資が低調に推移／臨床検査機器の納期移動により減少
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が増加
機器製品	減少	欧州向けが堅調に推移したものの、国内において在庫調整の影響が継続

セグメント別概要 アジア

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	6,350 (32.2%)	7,619 (32.7%)	10,597 (39.4%)	+39.1%
セグメント利益	305	469	1,004	+113.9%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	L N G 運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けの換装工事が増加
機器製品	増加	中国船用市場及びシンガポール国内向けで堅調に推移 / マレーシア国内向けが増加

セグメント別概要 ヨーロッパ

(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	2,974 (15.1%)	3,775 (16.2%)	3,787 (14.1%)	+0.3%
セグメント利益	148	205	300	+46.4%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

機器製品	減少	欧州向けの一部及び中近東において低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けブレーカの更新工事が堅調に推移

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 中間期	増 減
資産の部			
流動資産	48,381	49,935	+1,554
固定資産	19,662	20,163	+500
資産合計	68,043	70,098	+2,055
負債の部			
流動負債	15,301	15,734	+433
固定負債	5,950	6,296	+346
負債合計	21,252	22,031	+779
純資産の部			
株主資本	40,065	41,305	+1,239
その他の包括利益累計額	6,725	6,762	+36
純資産合計	46,791	48,067	+1,275
負債・純資産合計	68,043	70,098	+2,055

主な増減

「流動資産」

現金及び預金 +3,486

受取手形、売掛金
及び契約資産 ▲2,285

棚卸資産 +582

「固定資産」

有形固定資産 +623

投資有価証券 ▲168

「流動負債」

支払手形及び買掛金 +394

1年内返済予定の
長期借入金 +324

未払法人税等 ▲531

未払費用 +173

「固定負債」

長期借入金 +539

「株主資本」

利益剰余金 +1,239

「その他の包括利益累計額」

為替換算調整勘定 +312

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,577	4,485	+2,908
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,522	▲1,437	+85
財務活動による キャッシュ・フロー	▲729	410	+1,139
現金及び現金同等物の 中間期末残高	11,143	16,697	+5,554

主な収支

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

税金等調整前中間純利益	2,249
売上債権の減少による収入	2,421
棚卸資産の増加による支出	▲491
法人税等の支払による支出	▲1,169

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

有形固定資産の取得による支出	▲1,313
----------------	--------

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

長期借入れによる収入	1,300
長期借入金の返済による支出	▲437
配当金の支払による支出	▲338

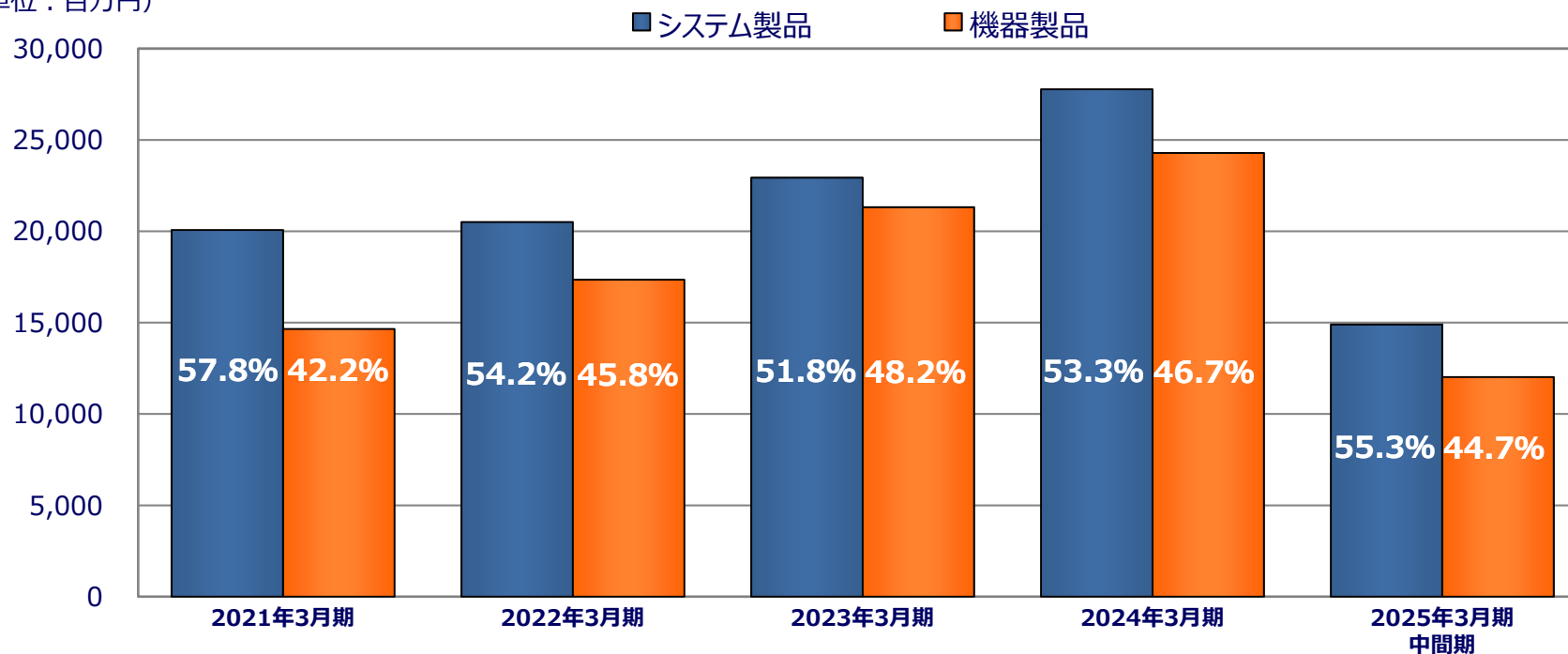
主要連結財務指標の推移

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年3月期 中間期
EPS 1株当たり当期純利益	円 銭 168.29	円 銭 97.92	円 銭 180.00	円 銭 308.15	※ 円 銭 235.63
BPS 1株当たり純資産	円 銭 2,672.45	円 銭 2,903.51	円 銭 3,114.96	円 銭 3,591.37	円 銭 3,689.30
自己資本比率	% 71.7	% 72.2	% 67.7	% 68.8	% 68.6
ROE 自己資本利益率	% 6.6	% 3.5	% 6.0	% 9.2	※ % 6.6
有利子負債	百万円 2,659	百万円 2,257	百万円 4,679	百万円 5,003	百万円 5,865
借入金	2,019	1,419	2,970	3,292	4,155
リース債務	639	837	1,708	1,711	1,709
DEレシオ	倍 0.08	倍 0.06	倍 0.12	倍 0.11	倍 0.12

※ 2025年3月期中間期のEPS及びROEは、2025年3月期修正予想に基づく期末予想値です。

製品別 連結売上高比率

(単位：百万円)



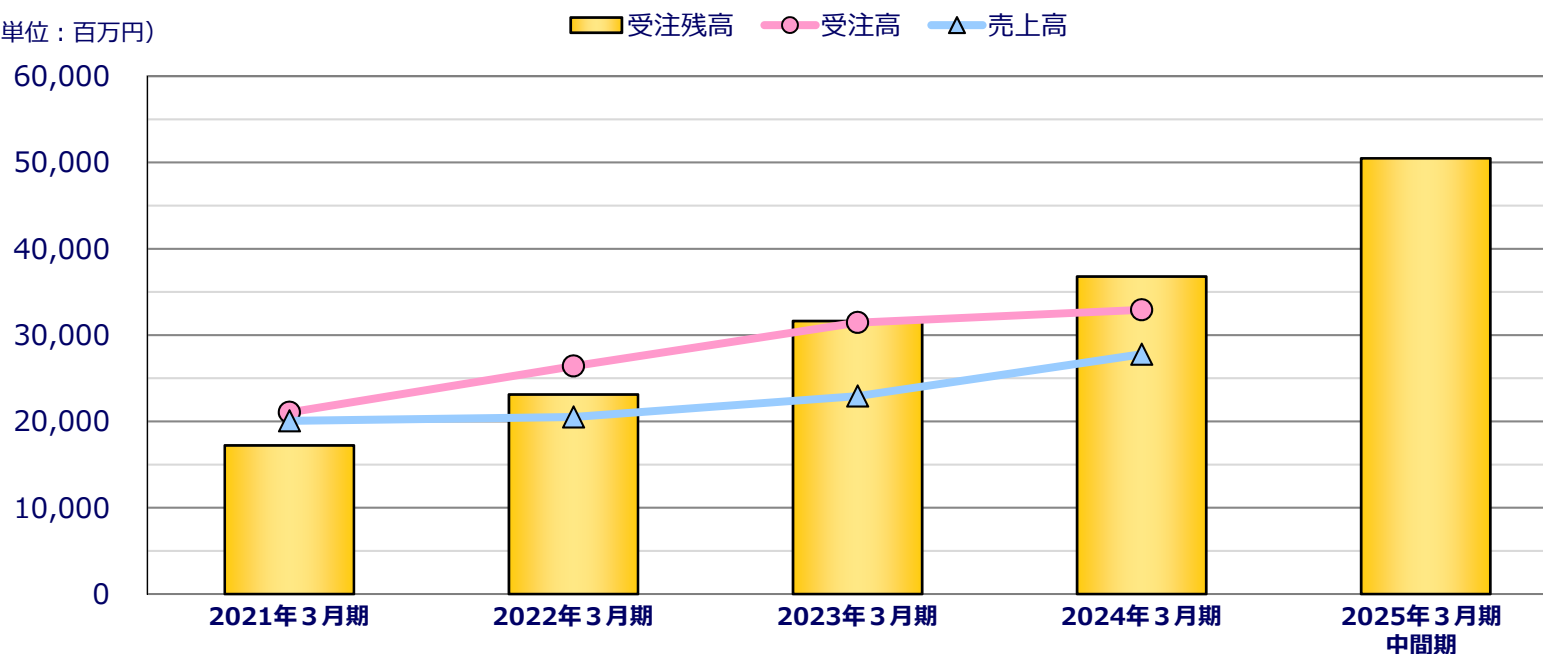
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期中間期
システム製品	20,070	20,506	22,935	27,776	14,896
機器製品	14,653	17,349	21,317	24,288	12,022

システム製品 連結売上高・受注高・受注残高

✓ 活況な造船市況を背景に、船舶用システム製品の受注が大幅に増加

(単位：百万円)

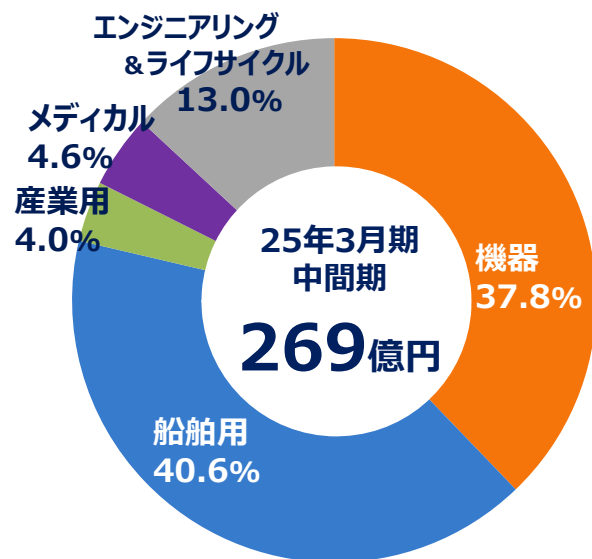


(単位：百万円)

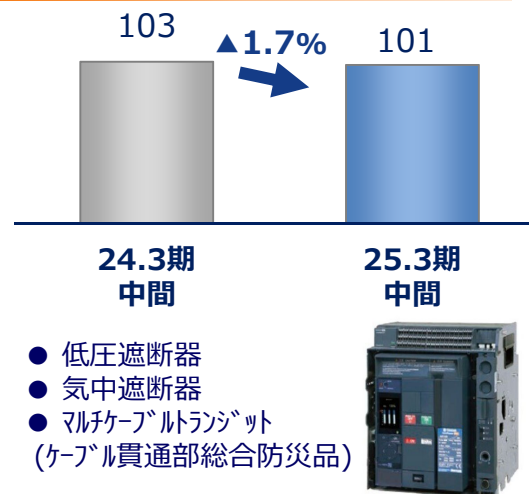
	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 中間期
受注残高	17,218	23,113	31,629	36,778	50,478
受注高	21,041	26,401	31,451	32,925	28,596
売上高	20,070	20,506	22,935	27,776	14,896

製品別※連結売上高推移

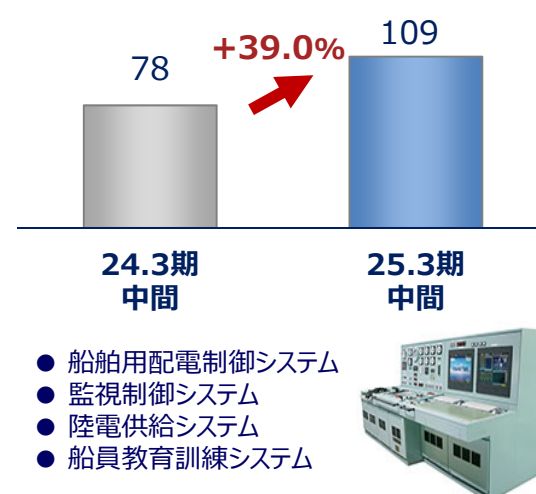
(単位：億円)



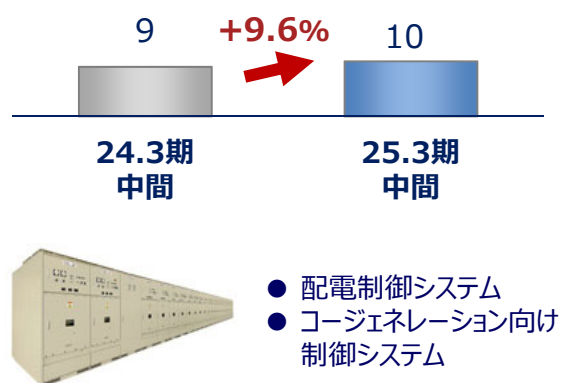
機器製品



船舶用システム製品



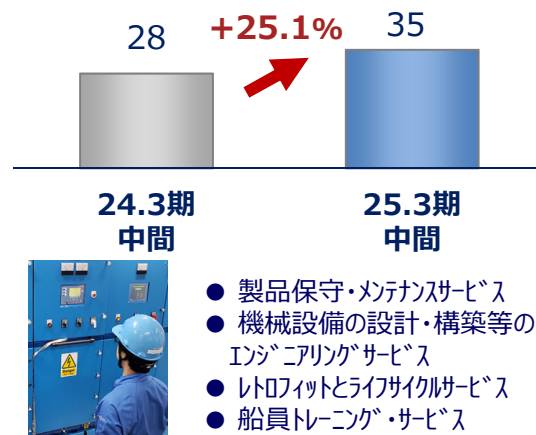
産業用システム製品



メディカルデバイス



エンジニアリング及びライフサイクルサービス



2025年3月期 連結業績予想 及び 配当予想（修正あり）

- ✓ 売上高は、海外の一部で設備投資の鈍化が予想されるものの、船舶用システム製品が総じて堅調に推移する見通し
- ✓ 利益面では、売上高の増加及び下期想定為替レート見直しにより、前回数値を上回る見込み

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期		対前回予想 増減率	対前年 増減率
		(5/15予想)	(11/13予想)		
売上高	52,065	52,510	55,520	+5.7%	+6.6%
営業利益	4,921	3,110	3,990	+28.3%	▲18.9%
経常利益	5,773	3,260	4,410	+35.3%	▲23.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,014	2,300	3,070	+33.5%	▲23.5%
E P S 1株当たり当期純利益	308円15銭	176円53銭	235円63銭	<2025年3月期 1株当たり配当金の内訳> 中間配当(実績) 10円 期末配当(予想) 16円 合計 26円	
1株当たり配当金	36.00円 (記念配当10円を含む)	26.00円	26.00円		
営業利益率	9.5%	5.9%	7.2%		

＜期中平均レート＞

1US\$	144.59円	140.00円	144.00円※
1EURO	156.75円	152.00円	159.00円※
1ST £	181.71円	178.00円	192.00円※
1RMB	20.13円	20.00円	20.50円※

※下期想定レート

【為替感応度】

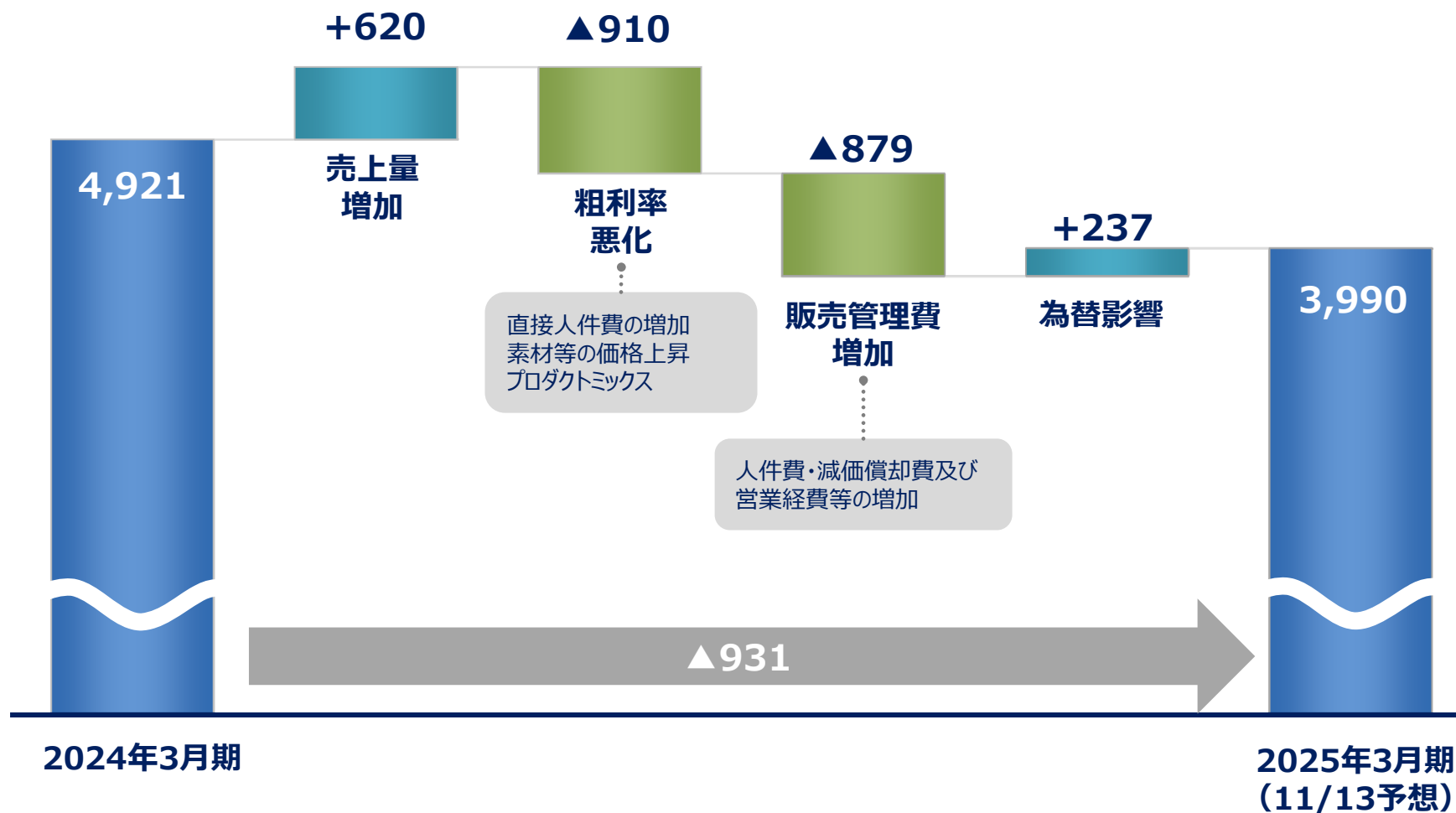
（US\$ 1円変動時の影響額）

売上高	営業利益
約2億円	約1億円

その他の外貨がUS\$と連動して変化することを前提とする

連結営業利益増減内訳

(単位：百万円)



業績予想の主要因及び対策

日本

●船舶用システム製品

高付加価値船等が堅調に推移し、売上は増加する見通し。

- － 高付加価値船(L N G 船、コンテナ船等)向け配電制御システムの受注強化による売上と利益の確保
- － 高付加価値船における電力の大容量化に対応した高遮断容量の新型高圧配電盤の販売拡大
- － 陸電供給システム等のグリーンビジネスの拡大や、I o T 及びビッグデータ活用、DCグリッド、新燃料の制御等の研究開発にも取り組み、海洋マーケットにおける重層的なビジネス展開と 1 隻あたりの当社活躍度を高める水平的なビジネス展開
- － グループ生産拠点の機動的な活用による競争力強化と生産性の向上
- － 船員教育市場向けシミュレーターの受注及び船員教育トレーニング・ビジネスの推進

業績予想の主要因及び対策

日本

● 産業用システム製品

国内プラント案件の納期移動等により、売上は若干減少する見通し。

- － 国内外のグリーン市場、分散型電源市場への営業強化
- － 国内外の鉄道関連とプラント案件への受注強化
- － 脱炭素に伴うエネルギーtransitionへの対応強化

● 機器製品

国内において在庫調整が継続するものの、海外において船用向けを中心に堅調に推移し、売上はほぼ横ばいとなる見通し。

- － 新製品の拡販によるシェア向上
- － 狙いの市場への戦略的な営業展開による受注拡大
(グリーン関連市場、海外船舶市場、新興国インフラ市場等)
- － O E Mパートナーの拡大

業績予想の主要因及び対策

日本

● メディカルデバイス

臨床検査機器が低調に推移し、売上は減少する見通し。

- －グループ連携による開発力・生産能力のさらなる強化
- －医療業界のニーズに合った新製品の開発
- －ビジネスパートナーとの共創力強化

● エンジニアリング 及び ライフサイクルサービス

計画通り推移し、売上はほぼ横ばいとなる見通し。

- －TERASAKI Global Service Network(TGSN)の拡充と新サービスの提案
- －ライフサイクルビジネスの拡大をテラサキグループ全体で推進
- －陸電供給システム等のグリーン・エンジニアリングビジネスの拡大
- －レトロフィットビジネスの拡大
- －船舶用、産業用エンジニアリング事業の強化
- －船員トレーニング・サービスの拡充

業績予想の主要因及び対策

アジア

● 船舶用システム製品

上期からの納期移動に加え、いずれの船種も好調に推移し、売上は増加する見通し。

- － 営業力強化によるアジア市場でのシェアの維持・拡大
- － 高付加価値船向け製品の営業力と生産対応力の強化
- － 陸電供給システム等のグリーン・省エネ・安全対応ビジネスの拡大により、1隻あたりの当社活躍度を高める
- － グループ生産拠点の機動的な活用による競争力強化と生産性の向上

● 機器製品

船用市場向けが好調を維持することに加え、マレーシア国内を中心に堅調に推移し、売上は増加する見通し。

- － 新製品の拡販によるシェア向上
- － 日系顧客のアジア展開時のビジネスチャンスをTEAM TERASAKIで創出
- － 船用市場とインフラ関連市場およびデジタル関連市場への営業強化

業績予想の主要因及び対策

アジア

● 産業用システム製品

シンガポール国内のインフラ投資案件が堅調に推移し、売上は若干増加する見通し。

- －シンガポールと中国を拠点にインフラ投資案件への営業強化
- －日系企業に対する営業強化
- －脱炭素に伴うエネルギーtransitionへの対応強化

● エンジニアリング 及び ライフサイクルサービス

船舶向けの需要が継続し、売上は堅調に推移する見通し。

- －陸電供給システム等のグリーン・エンジニアリングビジネスの継続
- －TERASAKI Global Service Networkの拡充と新サービスの提案
(シンガポール、中国、ドバイの拠点の更なる拡充)
- －ライフサイクルビジネスの拡大をテラサキグループ全体で推進
- －レトロフィットビジネスの拡大

業績予想の主要因及び対策

ヨーロッパ

● 機器製品

脱炭素関連需要が引き続き継続し、売上は底堅く推移する見通し。

- － 新製品の拡販によるシェア向上
- － O E Mパートナーとの協力関係強化による顧客数の拡大
- － 欧州周辺国と中東・アフリカ市場のシェア拡大
- － ロジスティクス改革の推進によるお客様満足度の向上と物流コストの削減

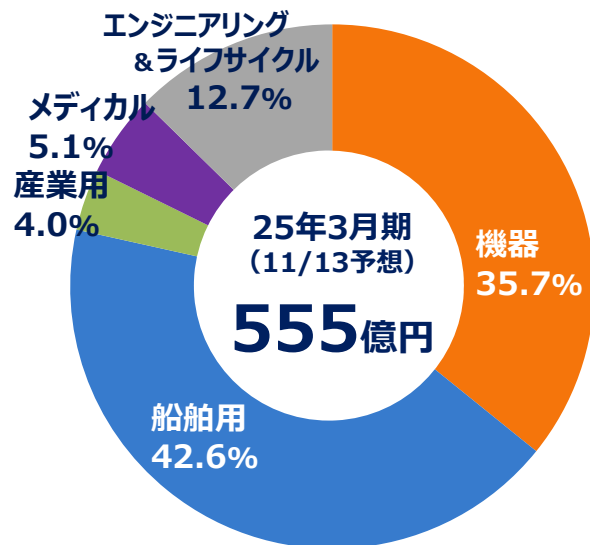
● エンジニアリング 及び ライフサイクルサービス

ブレーカの更新工事を中心に、売上は増加する見通し。

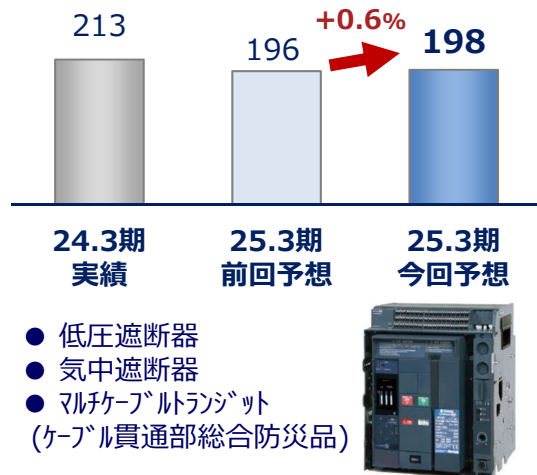
- － アフターサービスの強化
(欧州・中東におけるTERASAKI Global Service Networkの強化)
- － ライフサイクル及びレトロフィットビジネスの拡大

製品別※連結売上高推移

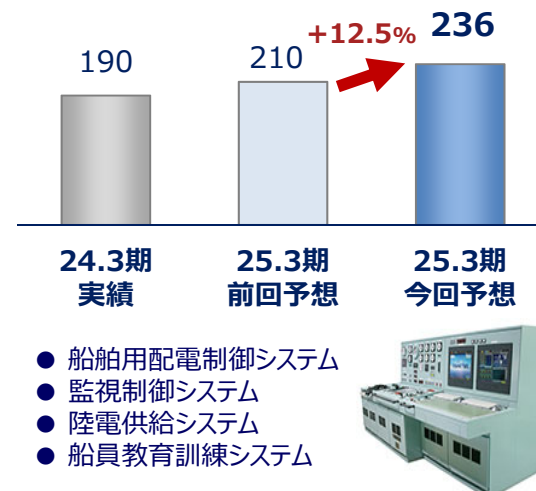
(単位：億円)



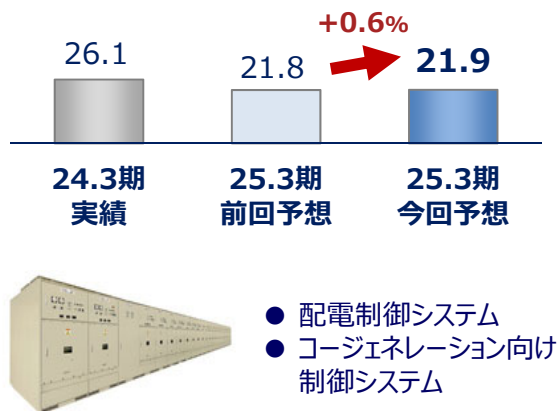
機器製品



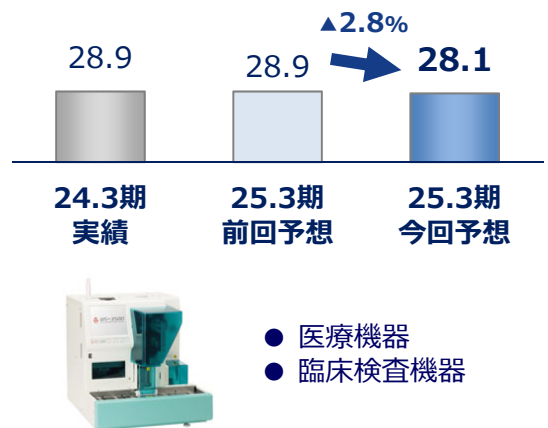
船舶用システム製品



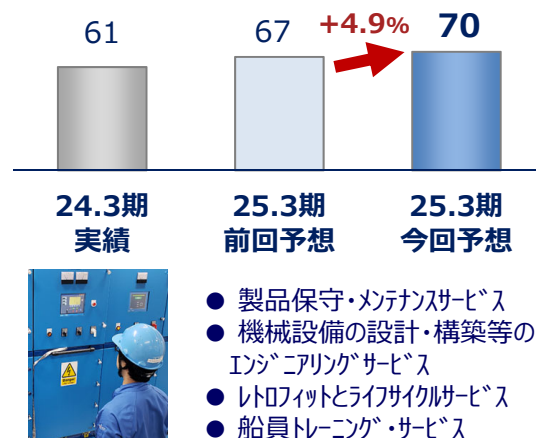
産業用システム製品



メディカルデバイス



エンジニアリング及びライフサイクルサービス





本資料お取り扱い上のご注意

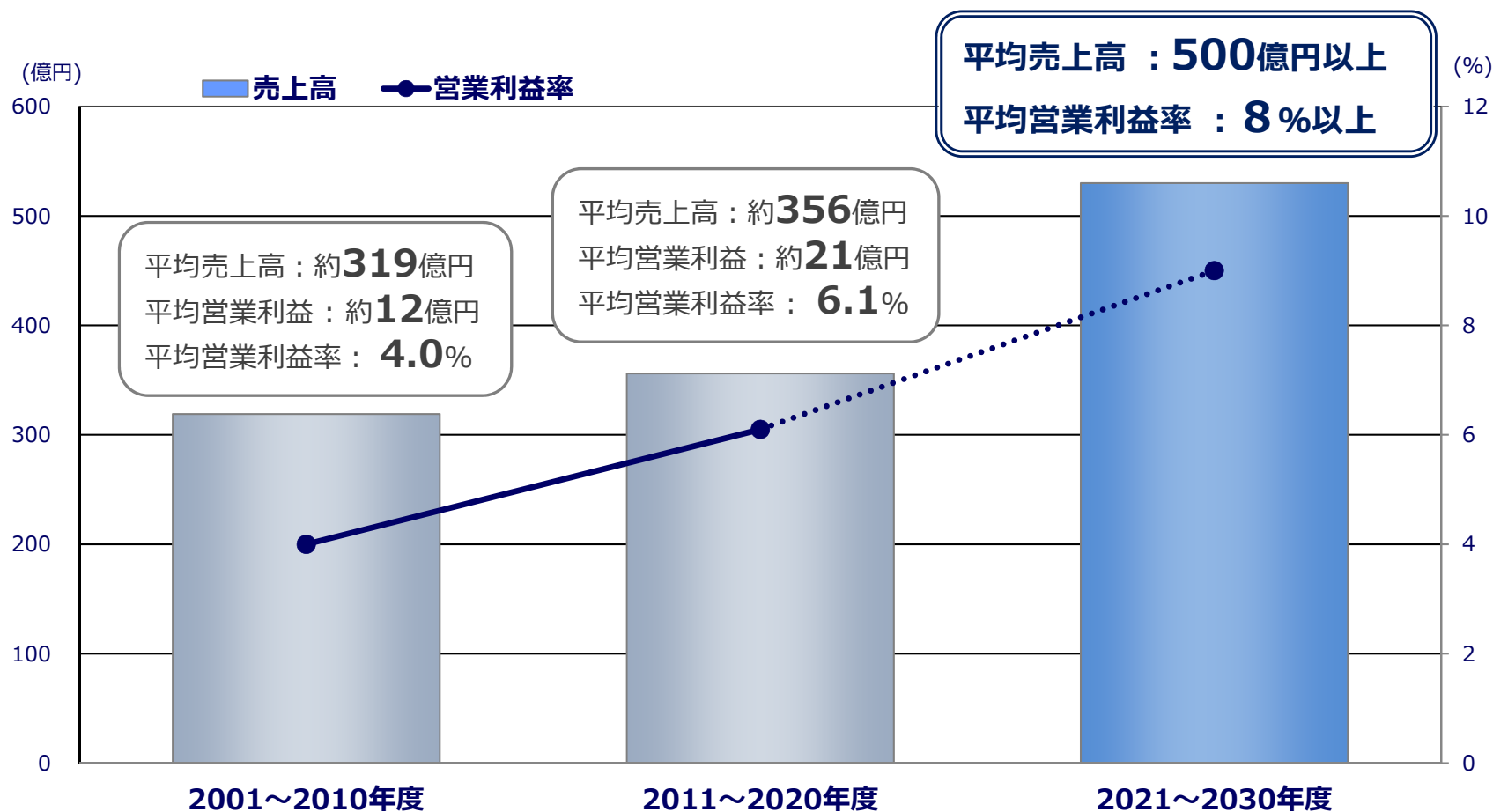
本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

10年成長ビジョン



10年成長ビジョン

- ✓ 2001年度から2020年度までの20年間、10年単位の平均値において**安定的な企業成長**を実現
- ✓ 2021年度以降の10年間に**平均連結売上高 500億円以上 平均連結営業利益率 8%以上**を目指す



10年成長ビジョン：2020年代の主要設備投資計画

